

トキ保護増殖事業計画

環境省
農林水産省
国土交通省

第1 事業の目標

トキは、我が国ではかつて全国各地に広く生息していたが、明治時代以降、生息数及び生息域が急速に減少し、一時は1羽が飼育されるのみとなったが、平成11年以降、中華人民共和国（以下「中国」という。）から提供された個体の飼育下での繁殖が順調に進んだ結果、平成15年12月現在、本種の個体数は39羽まで回復している。

また、国外においては、昭和56年に中国で7羽のトキの生息が確認されて以来、同国における生息地等の保護及び飼育下での繁殖技術の向上により、本種の個体数は飼育及び野生合わせて約560羽にまで回復している。

このように、飼育下での繁殖技術の確立等により本種の個体数は回復基調にあるものの、我が国には野生個体は存在せず、中国においても約半数は飼育下にあり、本種は依然として国際的にも絶滅のおそれの大きな鳥類の一つとされている。

本事業は、本種の飼育下での繁殖を進め、飼育下での個体の集団の充実を図ること、及びかつて本種の生息地であった佐渡島において本種の生息に適した環境を整えた上で再導入を図り、本種が自然状態で安定的に存続できる状態にすることを目標とする。

第2 事業の区域

主として新潟県佐渡島

第3 事業の内容

1 個体の飼育及び繁殖

佐渡トキ保護センター等の本種の飼育繁殖施設において、血縁関係に配慮しつつ繁殖を進め、飼育下での個体の集団の充実を図る。

また、飼育を通じ、本種の生理、生態、血統管理等に関する情報を収集及び記録し、国外を含む本種の保護対策の推進に資する。

2 生息環境の整備

本種が自然状態で安定して存続するためには、営巣木として利用されるアカマツ、コナラ等の大径木や餌となる生物を含めた本種を取り巻く生態系全体を良好な状態に保つことが必要である。

このため、我が国における本種の過去の生息環境や中国における生息環境等に関す

る情報を踏まえ、再導入を行う小佐渡東部地域を中心に、関係住民の十分な理解を得つつ、河川、湿地、水田、水路、営巣木、ねぐら木等の本種及び本種の餌となる生物の生息環境の保全及び再生を進める。特に、中山間地域の水田等については、本種の採餌地としての利活用を検討し、本種の生息に必要な餌資源及び採餌地の保全及び再生を進める。

なお、冬期間等の特に餌資源に不足を来すおそれがある場合に備え、給餌に必要な体制及び給餌地等の整備を検討する。

また、過去に佐渡島に導入されたテン等は、捕食者として本種の生息に影響を及ぼすおそれがあることから、その生態を調査するとともに本種に対する影響を監視し、個体の除去を始めとするねぐら等における本種の安全を確保するための必要な対策を検討する。

さらに、本種の再導入予定地における土地利用や事業活動の実施に際して、本種の生息に必要な環境条件を確保するための配慮が払われるよう努める。

3 再導入の実施

かつての本種の生息地である小佐渡東部を中心とする地域において、上記2による生息環境の整備を図り、また、上記1による飼育下での個体の集団の維持のめどが立った段階で、関係住民の十分な理解を得つつ、飼育繁殖個体を再導入することにより、本種の野生個体群の回復を図る。

この際、再導入個体が自然状態で自立して生存できるよう、事前に野生順化の取組を行うとともに、再導入個体の選定に当たっては、健康状態や血縁関係に留意する。

また、再導入した個体の行動、生息環境等を継続的に調査するとともに、その結果をその後の生息環境の整備や野生順化技術に反映させ、再導入に関する技術の向上を図る。

4 飼育個体の分散

本種の飼育及び繁殖並びに再導入は、当面佐渡島において実施するものとするが、本種の安定的存続を図るため、同島以外の地域における適切な施設への飼育個体の分散を検討する。

5 中国との相互協力の推進

我が国における本種の個体群の遺伝的多様性を確保するため、「日中共同トキ保護計画」に基づく中国との繁殖協力等を積極的に進める。

また、本事業により得られた知見をいかして、中国における本種の飼育及び繁殖並びに再導入技術確立のための協力を進め、国内外にわたる本種の保護対策の充実強化に資する。

6 その他

(1) 生殖細胞等の保存

本種の生殖細胞、組織及び遺伝子は、将来の保護増殖に利用することが期待され

るため、これらを良好な状態で保存するための手法を検討するとともに体制の整備を進め、適切な保存を図る。

(2) 再導入技術の研究及び開発

本種の飼育繁殖個体に対する野生順化等の技術を確立するため、国内外の類似例の調査及び研究を進めるとともに、必要に応じて近縁種を用いた同技術の研究及び開発を進める。

(3) 普及啓発等の推進

本事業を実効あるものとするためには、関係行政機関、関係地方公共団体、各種事業活動を行う事業者、関係地域の住民を始めとする国民等の理解と協力が不可欠である。このため、本種の保護の必要性及び本事業の実施状況等に関する普及啓発等を進め、本種の保護に関する配慮と協力を呼び掛ける。また、国、関係行政機関、関係地方公共団体、関係民間団体等は関係地域において本種についての理解を深めるための取組を行うことにより、地域の自主的な保護活動の展開が図られるよう努める。

(4) 効果的な事業の推進のための連携の確保

本事業の実施に当たっては、国、関係行政機関、関係地方公共団体、本種の生態等に関する専門的知識を有する者、本種の保護活動に参画する民間団体、地域住民等関係者間の連携を図り、効果的に事業が実施されるよう努める。

トキ保護増殖事業計画 変更の概要

	変更後	現 行
策定者	環境大臣、農林水産大臣、国土交通大臣	環境庁長官
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育下での繁殖を進め、飼育下の個体の集団の充実を図ること ・ 佐渡島において、本種の生息に適した環境を整えた上で再導入を図り、本種が自然状態で安定的に存続できる状態にすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現存する個体（２羽）の飼育を継続し、健康状態を維持すること ・ 近縁種の飼育・繁殖を通じて本種の繁殖技術を確立すること ・ 本種の生殖細胞等の適切な保存を図り将来の保護増殖に資すること
事業の区域	主として新潟県佐渡島	新潟県佐渡島
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 個体の飼育・繁殖 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個体の血縁関係に配慮した繁殖をすすめ、飼育下の個体の集団の充実を図ること、及び生理・生態・血統管理等に関する情報の収集、記録 2 生息環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川、湿地、水田、水路、営巣木、ねぐら木等の本種及び餌生物の生息環境の保全・再生 ・ 中山間地域の水田等の採餌地としての利活用を検討し、餌資源及び採餌地の保全・再生 ・ 佐渡島に導入されたテン等の生態調査・影響の監視と個体の除去等ねぐら等における安全確保のための対策の検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1 個体の飼育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現存する個体（２羽）の飼育の継続、健康状態の維持及び生理生態に関する情報の収集、記録 2 近縁種による繁殖技術の開発 3 生殖細胞等の保存 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生殖細胞等を良好な状態で保存するための手法の検討、体制の整備 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国外のトキ保護増殖への協力の推進 ・ 本種保護のための普及啓発の推進

3 再導入の実施

- ・ 生息環境の整備及び飼育個体の集団の維持のめどが立った段階で、飼育個体に対する野生順化の取組を実施した上で小佐渡東部地域に再導入し、野生個体群の回復を図る
- ・ 再導入した個体の行動及び生息環境等の継続的な調査とその結果の反映

4 飼育個体の分散

- ・ 本種の安定的存続を図るため、佐渡島以外の地域における適切な施設への飼育個体の分散の検討

5 中国との相互協力の推進

- ・ 日中共同トキ保護計画に基づく中国との繁殖協力等の推進

6 その他

- ・ 生殖細胞等の保存
- ・ 再導入技術の研究・開発
- ・ 普及啓発の推進
- ・ 事業者間の連携の確保